

就活日誌

就職先：医科大学職員（事務職）

就活スケジュール

・3年次

10月：就職については以前から考えていたものの漠然としていて行動に移してなどいなかったが、そろそろ何かしらに手をつけようと思いリクナビなどの就活サイトに登録をし始める。12月まではISFJやジョイント合宿もあり、本格的な就活はしなかった。

11月：現実をまだ認識できておらず、初めて合同企業説明会に行きはしたが、適当かつ無計画に企業ブースを見ていた。エントリーやエントリーシートなど、就活における色々なことを知るようになる。企業へのエントリーを始める。

12月：民間も考えていたが本命は公務員と決めて、公務員試験のため様々な本を買い、勉強し始める。といっても、本格的というには程遠かった。

1月：どんな仕事に就きたいかを考え、そこからある程度興味のある企業に絞り、合同企業説明会に参加した。これ以降合同企業説明会は参加せず。個別の企業説明会は続く。

2月：エントリーシートの練習や本格的に公務員試験勉強をやるようになる。

3月：エントリーシートを書き、適性検査や試験を受け始める。ここから実際に試験や選考を受けていく。

A社 - 書類選考受験

A銀行 - エントリーシートでの選考

・4年次

4月：試験内容に面接も入ってくるようになる。

A社 - 不合格

A 銀行 - 書類選考通過 筆記試験合格 1次面接不合格

B 社 - 説明会と1次試験受験 不合格

C 社 - エントリーシートでの選考 不合格

D 社 - 1次選考受験 不合格

5月

E 社 - 書類選考通過 筆記試験と1次面接 不合格

F 社 - 書類選考通過 筆記試験と1次面接 不合格

G 社 - 書類選考落選

6月: 民間の就職活動をやめて公務員に絞り、公務員試験勉強だけをやるようになる。公務員試験受験開始。

国家 種 - 1次試験受験

A 県庁 - 1次試験受験

7月: 勉強を続けながら試験を受けていく。このあたりでやっと一通りの勉強が完璧に終わった。

国家 種 - 1次試験不合格

A 県庁 - 1次試験不合格

A 市役所 - 1次試験受験

8月: 公務員と同じといえる試験内容の私立大学職員も受験。

A 市役所 - 1次試験不合格

A 大学 - 1次選考受験

9月: 受ける試験全て1次で落ちるも、わずかな可能性を信じて試験を受けていく。もちろん試験開始ギリギリまで対策はしていた。

A 大学 - 1次選考通過 2次選考

A 役場 - 1次試験受験

10月: ここまで未だ内定は1つもなく、内定を獲得するまでは精神的にきついものがあった。採用決定通知を見て歓喜する。

A 役場 - 1次試験不合格

A 大学 - 2次選考 2次選考通過 採用決定

A 大学へ就職することを決めて、就職活動終了。

<就活を振り返ってのポイントやコメント>

・今振り返ると、全体的に行動が遅めだったと思う。エントリーや個別企業説明会の参加もあまりしなかった。民間就職だけを考えるならエントリーや個別企業説明会の参加は積極的にしたほうが良い。説明会に参加して分かる事もある。自分の興味がある仕事ややりたいことを考えていくこと。

・公務員を目指すなら、勉強は早めに始めて損をすることはない。私は面接などを経験しておくために民間も受けていたが、バランスはしっかりと考えないとならないだろう。人それぞれペースはあるが、私は危うく両方とも中途半端で終わる所だった。

・勉強のスタートが遅く、決して十分とは言えなかったせいもあるが、公務員試験は思っていたよりも厳しかった。しっかりとした準備が必要。試験内容は受ける所にもより、普通とは違った試験内容もある。また、職種などによって受ける科目も違って来る。日程なども含めしっかりとチェックすること。

・受けた企業数が少なめの私が言うのも何だが、数はこなさないと慣れないし、内定をとれるものもとれないと感じた。実際、私は本当に最後の最後に内定先（時期的には採用先）が決まった。

・思うように結果が出なくても、落ち込んだり考えすぎないほうがいい。周りを気にしすぎず、前向きに頑張ること。現在は厳しい状況と言われているが、時代がどうこうではなく、大切なのは自分の意志。